

# **ReVIEW**

# **サンプル書籍**

(C) 2011, Masayoshi Takahashi

# ReVIEW サンプル書籍

中山健次郎 著

2011-08-03 版 所属 発行

# はじめに

(読者が読みたくなるようなまえがきっぽい言葉)

## 内容について

(内容紹介)

## 動作環境について

(バージョンとか)

## 謝辞

(必要に応じて)

## 第 1 章

# Linux コマンドサンプル

### 1.1 本文について

リスト 1.2: Linux コマンドサンプル

```
$date -F  
$ ls foo
```

2 行以上以上空いていても 1 行空いているのと同様に処理します。

#### 1.1.1 見出し

「=」「==」「===」の後に一文字空白をあけると見出しになります。

コラム: コラムについて

見出しの先頭に「[column]」と書くと、そこはコラムになります。

### 1.2 箇条書き

番号のない箇条書きは「\*」を使います。前後に空白を入れて下さい。

- 1 つ目
- 2 つ目
- 3 つ目

番号付きの箇条書きには、「1.」「2.」などと書きます。数字の値は実際には無視され、連番が振られます。

1. 1 つ目

2. 2 つ目

3. 3 つ目

## 1.3 ソースコードなどのリスト

リストには「`//list`」ブロックや「`//emlist`」ブロックを使います。

リスト 1.2: リストのサンプル

```
int main(int argc, char **argv) {  
    puts("OK");  
    return 0;  
}
```

文中にリストを書くには「`//emlist`」になります。

```
def main  
    puts "ok"  
end
```

## 1.4 画像

画像は「`//image`」ブロックを使います。

```
--[[path = (not exist)]]--
```

画像サンプル

より詳しくは、<https://github.com/kmuto/review/blob/master/doc/format.rdoc> を御覧ください。

## 第 2 章

# 文字列処理ツール

### 2.1 less と cat

#### 2.1.1 cat -- 1 つ以上のファイルを標準出力にダンプします。

```
[root@localhost ~]# cat /etc/resolv.conf
# Generated by NetworkManager
nameserver 192.168.1.1
```

#### 2.1.2 less -- ファイルや標準入力をページ単位で表示します。

ページを表示させたあとのコマンド

- /text ... 「text」を検索
- n または N ... 次 または 前のマッチにジャンプ
- v ... テキストエディタでファイルを開く

コラム: 標準入力と標準出力について

### 2.2 head と tail

#### 2.2.1 head --- ファイル先頭の 10 行を表示

- オプション -n : 表示する行数を変更します。

#### 2.2.2 tail --- ファイルの最後の 10 行を表示します

- オプション -n : 表示する行数を変更します。

- オプション -f ファイルに追加される内容を「追跡」する

## 2.3 grep

**ReVIEW サンプル書籍**

---

2011 年 08 月 03 日 v1.0.0 版発行

著 者 中山健次郎  
編 集 中山健次郎  
発行所 所属

---

(C) 2012 Kenjiro Nakayama